令和３年度　福井県立武生工業高等学校・福井県立武生商工高等学校工業キャンパス
部活動に関わる活動方針

生徒の実態

部活動の意義と効果を理解し、前向きに取り組んでいる生徒が多い。一部で、活動に消極的な生徒も見受けられる。

ねらい

部活動を通して豊かな学校生活を経験し、体力や健康の増進、技術や知識の習得を図る中で、豊かな人間性を育む。

保護者の願い

部活動を通して､健康で健全な人格の形成を目指し、豊かな人生を送る基礎を育む。

学校や地域の実態

卒業生の多くは地元の製造業等を就職先に選び、本校に対する地元企業の期待も高い。進学する生徒も一定割合存在する。

活動計画・時間

〇活動時間
・平日の活動は２時間程度とする。
・休日の活動は３時間程度とする。

〇休養日
・平日の休養日を１日以上設ける。
・週末（土曜日および日曜日）は １日以上を休養日とする。
・年間５２日以上の活動休養日を 確保する。
上記を基準とするが、大会や学校行事等の状況を考慮し、年間を通して効率的・効果的な活動を心がける。
運動や食事、休養、睡眠などのバランスがとれた生活を送ることができるように配慮する。

〇商業キャンパスとの交流
シャトルバスを運行し、部活動の活性化を図ることで、交流を推進する。

地域の要望

地域や企業、家庭等を支える有益な人材を育成する上で部活動が果たす役割は大きく、期待されている。

設置部活動

〇運動部（１１）
野球・陸上・弓道・サッカー
バドミントン（男子）・ホッケー
硬式テニス（男子）・卓球（男子）
バレーボール（男子）・ボクシング
バスケットボール（男子）
〇文化部（７）
家庭・放送・写真・ロボット工学
建築文化・電気工学・都市工学

外部指導者との連携

必要に応じて、外部指導者の活用を推進する。また、学校現場における適切な指導者の選定を行う。

危機管理体制

安全管理を徹底し、事故の防止に努めるとともに、共同管理体制や緊急連絡体制を確立し、不測の事態に対応できる環境の整備に努める。

指導力向上

関係団体や保護者の協力、地域の指導者を活用し、各部における指導力の向上を図る。また、顧問間の情報共有を深め、学校全体として効果的な指導体制の構築を図る。

改善に向けた取り組み

生徒と保護者の多様なニーズに対応し、各部における活動目標を柔軟に設定する。また、定期的に評価と改善を行い、生徒の活動参加の機会が損なわれることがないように配慮する。

部活動における新型コロナウイルス感染症対策

感染拡大への警戒を怠らず、感染の状況に応じて衛生管理マニュアル等に基づき感染症対策を行う。
緊急事態宣言の対象区域及び重点措置区域に属する地域になった場合は『部活動の「感染症対策を講じてもなお感染リスクが高い活動」の制限等について』に留意し活動する。

体罰等の防止

行き過ぎた指導や部活動の運営が、体罰やハラスメントにつながることがないよう定期的な研修を行うと共に、共同管理体制の中で相互に情報を共有できる環境づくりに努める。